

地震編

地震の揺れと想定される被害

震度 0

- 人は揺れを感じないが、地震計には記録される

震度 1

- 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる

震度 2

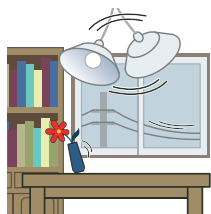
- 多くの人が揺れを感じる
- つり下がった物がわずかに揺れる

震度 3

- 棚にある物が音を立てる
- 眠っている人の大半が目覚ます
- 電線が少し揺れる

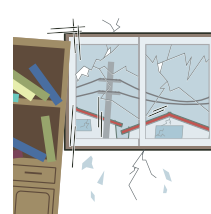
震度 4

- かなりの恐怖感がある
- つり下げた物が大きく揺れる
- 電線が大きく揺れる
- 歩行中揺れを感じる



震度 6弱

- 立っていることが困難になる
- 壁のタイルや窓ガラスが破損して落下する
- 耐震性の低い木造住宅では倒壊することもある



震度 5弱

- 棚にある物や書棚の本が落ちる
- まれに窓ガラスが割れることがある
- 電柱が揺れているのがわかる



震度 6強

- はわないと動けない
- 固定していない家具が移動・転倒する
- 耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損することがかなりある



震度 5強

- 行動に支障を感じる
- 窓ガラスが割れることがある
- タンスや自動販売機が倒れることがある
- 自動車の運転が困難になる



震度 7

- 自分の意志では行動できない
- ほとんどの家具が移動し飛ぶこともある
- 耐震性の高い住宅でも、傾いたり大きく破損することがある



緊急地震速報の発令

緊急地震速報は、震度5（弱）以上と予想された地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予想される地域を対象に、テレビやラジオ、携帯電話などで流れます。速報が流れてから強い揺れが来るまでは、数秒から数十秒しかありません。震源に近い場所では、速報が揺れに間に合わないことも想定されますので、まずは倒れやすい家具類から離れ、ただちにテーブルや机の下に潜るなど、危険を回避してください。（※震度計は、役場に設置されています。）

音更町で揺れの大きかった地震の記録

発生の年月	震 央	地震の揺れの大きさ
平成5年1月15日 (1993年)	釧路沖	20時6分発震、マグニチュード7.8 最大震度6、帯広市・音更町震度5
平成15年9月26日 (2003年)	十勝沖	4時50分発震、マグニチュード8.0 最大震度6弱、帯広市震度5強・音更町震度5弱
平成25年2月2日 (2013年)	十勝地方南部	23時17分発震、マグニチュード6.5 最大震度5強、帯広市・音更町震度5弱
平成30年9月6日 (2018年)	胆振地方中東部	3時7分発震、マグニチュード6.7 最大震度7、帯広市・音更町震度4